

2020年12月24日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

マンション管理会社ならではの改修工事の在り方を提案
「Revive+（リバイヴ プラス）」として工事のブランディングを推進
 改修工事に込める想いは「新しい風景、準備中。」

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀 克英）は、「マンション管理会社ならではの改修工事」の在り方を「Revive+」として展開することといたしましたので、お知らせします。

ライフタイムマネジメントの考えに根差した東急コミュニティーの新しい改修工事「Revive+」

当社は全国でマンション約 34 万戸を管理する総合不動産会社です。「良質な社会的ストックの形成」という社会的な使命から、建物の寿命を長く、最良な状態で、健やかに年を重ねて資産価値を維持向上させていくという考え方を「ライフタイムマネジメント」として掲げてきました。この考え方を基盤に、建物の「これまで」を知り、「いま」を見極め、「これから」を見通す管理会社ならではの工事提案を、「Revive+」としてブランディングしました。マンション工事を通じてお客様へ提供する価値、取り組みの背景にある想いを言語化・ビジュアル化することで、マンション工事に携わる社員一人ひとりが同一のビジョンのもとで工事に取り組み、お客様へ新たな価値を提供してまいります。

■工事業ロゴマーク



**LIFE TIME
MANAGEMENT**

3つの矢印は、手掛ける建物の豊富さや成長していく様子を表しています。

さらに「人」「建物」「街」の3つをつなげて、生活環境と資産価値を高めるという意味を込めています。

■改修工事商品名「Revive+」

Revive+
 リバイヴ プラス

私たちの改修工事は、最新の技術や設備で建物を Revive（よみがえらせる）だけではありません。住む人の様々な思いを形にする（+）の提案を行っています。

改修工事を通じて建物とお客様の一生に寄り添い、ライフステージごとの価値を（+）し続けるという想いを込めています。

■改修工事に込める想いは「新しい風景、準備中。」

大規模改修工事はマンションの資産価値の維持・向上のため必要な工事ですが、修繕委員会をはじめとした管理組合員の労力を要すること、多額なコストが掛かること、工事中、生活上の不具合が生じること等から、マンション居住者の方からもマイナスイメージを持たれることも少なくありません。

マンションは、住む人々にとっての生活空間であると同時に近くにお住まいの方や前を通る方にとっては建物自体がその街の風景の一部です。ある日、改修工事が始まると、マンションは工事用シートに覆われ、普段と違う風景になります。



私たちは、大規模改修工事によりマンションが工事用シートに覆われた様子を「新しい風景へと生まれ変わる準備」だと考えています。シートが外される時の期待に応えられるよう、工事に携わる者としての使命感・責任感を持ち、「この街の風景をつくる」という想いで工事に取り組んでまいります。

当社は管理会社としてお客様・建物の一生に寄り添い、深くかかわる立場から、年間200件の大規模改修工事の実績がございます。これからも、建物の将来を見据えた効率的・効果的な工事提案を行い、お客様の建物の資産価値維持向上に努めます。マンション大規模改修工事においては、お住まいのお客様にとって、また工事作業員にとって安心・安全を第一に、さらなる品質向上を目指して取り組んでまいります。

【リリースに関するお問合せ】

経営企画部広報センター（担当：高村・伊藤）

※このニュースリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお配りしています。